

図書館 だより



No.79
新入生
歓迎号

2010.4

Fuji Women's University Library

変化へのまなざし

藤女子大学副学長 藤井 義博

老いも若きも、今、私たちはみな、吹雪のなか
を行くようです。行く先も、周りも、何も見えな
いなか、想像力だけが不安定に活性化しているよ
うです。キレル、いじめる、引きこもる。不登校、
拒食・過食、自殺……存在を賭けて、パワーゲー
ムの人生。勝者でなきゃ生存を許されないのだから
と、生き残りをかけて、「勝った負けた」と必
死の努力。さらには世話と服従に明け暮れるパ
ワーゲーム人生もあり。他者の欲望を読み取って、
それを自分のものと生きる、したたかに…… だ
けど、いつから、そんなに、自己評価が低くなっ
たのだろう、お互いに。

私が経験した人生初のパワーゲーム。それは幼
稚園から小学校に上がる節目で待ってました。祖
母から諭された言葉は、「〇〇の××ちゃんに負
けてはいけない」でした。まだ会ったこともない
同級生となぜ競争しなければならないの、どうし
て友達であってはいけないの、こころのなかで反



発しました。彼とはとうとう一度も口をきくこと
がありませんでした。それから半世紀以上たった
今も、その名前は心のなかで生きつづけています。
パワーゲームが次にやってきたのは、小学2年生
のときでした。当時は学校給食の前夜、お昼には
担任の先生と、みんなでいっしょに食べたお弁
当、その日も一番前の席で食べようとしたその時：
「左手で食べてはいけない！」いつもはオルガン
の上手な物静かな男の先生の、教卓からいきなり
警告の言葉が飛んできました。「はい、わかりま
した！」とは言いもせず、ましてや右手で食べも
しませんでした。代わりにハンガーストライキに
打って出ました。これはただちに功を奏し、左手
で食べてよいことになりました。それは私が、左

C O N T E N T S

変化へのまなざし……………①	藤井 義博
あふれる食情報との付き合い方 -ほんとうの意味のダイエットとは- (読書案内) ……③	高橋セツ子

図書館体験記……………④
2009年小説貸出ランキング……………⑥
図書館委員会からのお知らせ……………⑦
2009年度図書館のあたらしい動き&利用状況から……………⑦
図書館員のオススメ本 第8回……………⑧

利きがいけないことを知った初めであり、敷衍^{ふえん}してこの世には少数者への、いわれのない非難があるだろうと、想像した初めでもありました。

俳句の今 (haiku moment)、簡便な短詩形、英語俳句に惹かれ、10年くらい前から折にふれて、句作をするようになりました。はるばる36年前に京都から渡ってきた北海道に、季語は似合いません、自然の推移が違いすぎました。季語と五・七・五とを超えた俳句は、替わりに国際性を獲得しました。山口誓子が好きですが、師匠はいません。2007年、猛暑が一月続いたとき、札幌の夏も変わった地球温暖化の今こそ、季節を描写しておかないといけない、さもないと10年後には季節感はいき場を失ってしまう。こんな使命感のようなものに駆られて、意志として句作を試みるようになりました。札幌東部の北野から、毎朝街中を横断して Flower Stream (注：花川) に入るところ、左手に手稲山を望むことができます。生まれ故郷のエクス・アン・プロヴァンスにて、生涯サント・ヴィクトワール山を描き続けたポール・セザンヌ。その心意気におもいを馳せながら、来る日も来る日も句作をしていると、手稲の山容の日々新たなことに気づくようになりました。晴れの日、雨の日、雪の日、春夏秋冬、自然の景色は違うに決まっています。そうではなく、手稲山が、「自然と自然をあらしめているもの」すなわち「大自然」が、「見える」ようになってきたように感じるのです。「俳諧とは浅きより深きに入り深きより浅きにもどる心の味なり」(芭蕉)、それをちょっとだけ味わって、手紙やメールや挨拶に俳句を添えたりしています。

顔の形や骨の形は、どんなに変わらないように見えても、それを形作っている分子は、数ヶ月前あるいは数年前とはまったく別物になっています。体を構成するすべての組織と細胞を形作っている分子は、すべて常に分解され、摂取した食物の分子と置き換えら

れ、更新され続けている。これがルドルフ・シェーンハイマー (1898—1941) の「体構成成分の動的な平衡状態の概念」です。発育して体という容器ができると、エネルギーを与えるために食べ物の分子が体を通り過ぎてゆくのではない。町医者の安藤昌益 (1703—1763) は、「米の精が人に成り、この身は米なり、米の精は神にしてこの身なり」と云いました。太陽と土壌の共同作業の成果である食物の分子は、摂取され体内にやってきて、置き換わって体を作り出し、また置き換わって体を離れてゆきます。ここで本当に変わらないのは、置き換わる分子の「流れ」だけです。これが「いのち」の姿なのかもしれません。「ゆく河の流れは絶えずしてしかももとの水にあらず」。中世人は「元の水のない流れ」に人のいのちの無常をおもいました。近代人は「絶えない流れ」に人のいのちの相対的なあるいは相補的な連続性をおもっているのではないのでしょうか。

自己と他者という二者関係のここちよく閉じられたカプセル。その閉塞性の代償の、幻の想いに包まれるより、カプセルの外との、世の中との、大自然との、「いのち」の流れに向う志に生きること。雲雀のさえずりに春を、一匹の赤トンボの姿に秋のおとずれを、感じる。そこで、一句

二羽雀 飛び立つ今を 打ち合わせ

余志



2009年8月24日 九州の開聞岳にて 奥様と

あふれる食情報との付き合い方【読書案内】

—ほんとうの意味のダイエットとは—

食物栄養学科 高橋セツ子

テレビのコマーシャルから食べものや健康に関する様々な情報が過剰なほどに供給されている今日、新入生の皆さんはそれらの情報をどのように受け止めているのでしょうか。

あるテレビ番組が「〇〇という食品は体のこの部分によい」とか「〇〇を食べると痩せられる」などとして取りあげられた商品が翌日には爆発的に売れ、店頭から瞬間になくなってしまおうという社会現象はこれまでに何度もありました。食生活は健康に与える影響が大きいことから食べものと健康との関係については人々の関心が高いことも事実です。しかしこのような情報を専門の研究者が調べてみると、一日に何キロも食べなければその効果はないという事実が判明するなど、それらの情報にはその食品に含まれる有効成分の量や効果が発現する量には触れられていないことが多いのです。では、このような断片的な情報に一喜一憂することなく過ごすにはどうしたらよいのでしょうか。ここで皆さんにご紹介したい本が2冊あります。いずれも高橋久仁子著で、1)『フードファディズム メディアに惑わされない食生活』中央法規出版と、2)『「食べもの情報」ウソ・ホント』—氾濫する情報を正しく読み取る— 講談社ブルーバックスです。著者はフードファディズム(食べものや栄養が健康や病気に与える影響を過大に評価したり信じたりすること)の概念を日本で初めて紹介しました。ご紹介の本では食情報の読み解き方や食と健康のあり方を提言しています。

飲むだけでスリムになるお茶はある? 減量するには基本的にエネルギー摂取量を減らすか、消費量を増やすしかありません。食事制限をせず、しかもエネルギー消費量を増加させることなくして痩せる事を「お茶」に期待するのもフードファディズムの一つと述べています。また、ダイエット(diet:本来の意味は食べものや食事、治療食、食事療法などを意味する言葉であり、痩せるとか痩せるための試みという意味はない)については普通の食事をし、運動をせずにスリムでいられる夢のようなダイエット食品など存在しないし、また、極端に偏った食べ方をする〇〇ダイエットも健康を損なう危険性の方が大きいと認識すべきと警告しています。昨今、女子大学生の無理な体重減量や一人暮らしの不規則な食生活、主食のない食事などが指摘されています。食生活の基本は必要な栄養素を過不足なく摂取することにあります。これらについてはご紹介した本の1)では第7章「フードファディズム」に陥らない食事法の中で、また、2)では第6章「食生活のおさえどころ—健康維持と食事の関係の中で詳しく述べられています。

花川校舎の図書館には食品や栄養、調理に関する書籍が雑誌から専門書に至るまでたくさん揃っています。きっと手にとって読みたくなる本が必ずあると思います。これからスタートする学生生活が健康で有意義なものになることを願っています。



フードファディズム

：メディアに惑わされない食生活

高橋久仁子著

所蔵館：花川館
請求記号：596 / Ta33



「食べもの情報」ウソ・ホント

：氾濫する情報を正しく読み取る

高橋久仁子著

所蔵館：花川館
請求記号：498.5 / Ta33

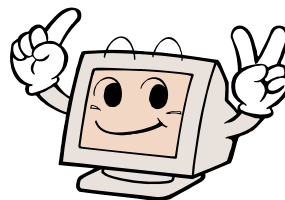
＊ 図書館まめ知識 ＊

図書館を利用する際、ほとんどの方が課題の参考文献を探すため、またはちょっとした調べ物をするを主として利用されていることと思います。

今回藤女子図書館での実習を終え、もっと快適・身近に藤女子大学の図書館を皆さんに利用していただきたく、既にご存知の方もいるかも知れませんが、ちょっとした耳寄りな情報をこの場を使ってご紹介したいと思います。

私たちの通う藤女子大学では、本館・花川館と二つの図書館があります。その蔵書類が、その館がある学部の教育研究を反映しているのを皆さんご存知でしょうか。具体的に本館におきましては、文学部ということもあり文学の基本的な研究書・学習書のほか、ミステリ小説を始め、多くの娯楽小説が、特に文庫本サイズのもので豊富に揃っております。また花川館におきましては、保育学科もあることから、ディズニーやジブリなどといったDVDがいろいろと充実しております。(蔵書・DVDに関する詳しい内容につきましては、図書館内でのパソコンにて簡単に検索可能になっています。)

藤女子大学図書館におきまして、両館における相互サービスがとてもしっかりしていることもあるため、ちょっとした空き時間にでも利用してみてもいいのではないでしょうか。



＊ 実習を終えての感想 ＊



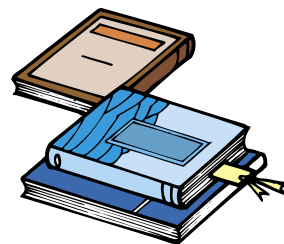
藤女子大学図書館での実習から約6カ月が経ちました。以前よりは図書館への理解が深まり上手く活用できているのではと思います。図書館におけるお仕事を理解することも、私にとってはいい経験となりました。しかし一番の収穫と言われると、やはり普段全く気づくことのなかった図書館の豆知識であったと思います。この「図書館だより」の記事を書きつつ、改めて今回知ることでできた図書館という場の凄さを実感し、これからの大学生活で役立てていければと思います。

〈文化総合学科3年 伊藤加奈〉

実習で学んでいくうちに、大学図書館について知っていることより知らないことの方が多かったことに気付かされました。それまで図書館司書の仕事は「カウンター業務」であるというイメージが強かったのですが、本は発注に始まり、受入・検収・分類・目録・装備などといった細かい作業があって初めて書架に並び、利用者が借りることができる状態になるということが分かりました。

実習を通して改めて大学図書館の必要性というものを強く感じましたし、全生徒に図書館の素晴らしさを知ってもらいたいと思いました。

〈文化総合学科3年 柿崎亜衣〉



2009年小説貸出ランキング

集計期間：2009年1月～12月。指定図書は除く。

他の皆がどんな本を読んでいるか気になったことはありませんか？2009年に貸出された本の中でも「小説」にテーマを絞ってランキングにしてみました。

1位 貸出回数 36回



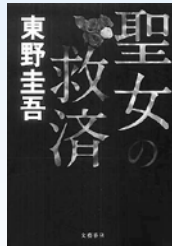
告白

湊かなえ著

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / Mi39

【紹介】“デビュー作で本屋大賞を受賞”という快挙を成し遂げた作品。松たか子さん主演で映画化も決まり、今年の6月に公開予定です。人物の語りや手紙などで各章が構成されており、ラストで伏線が一気に収束します。2作目の「少女」、3作目の「贖罪」も図書館に入っていますので、そちらも是非どうぞ。

2位 貸出回数 34回



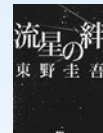
聖女の救済

東野圭吾著

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / H55

【紹介】2位～5位は東野圭吾さんが独占でした。2位の「聖女の救済」と4位「ガリレオの苦悩」は、ドラマで人気を博した天才科学者湯川助教授が活躍する“探偵ガリレオ”シリーズ。3位「流星の絆」は幼い頃殺人事件で両親を亡くした三兄妹が両親の復讐をしようと計画する話。こちらもドラマ化されました。5位「パラドックス13」は“P-13現象”という謎の現象に巻き込まれた人間たちを巡る話です。

3位 貸出回数31回



流星の絆

東野圭吾著

所蔵館：花川館
請求記号：913.6 / H55

4位 貸出回数27回



ガリレオの苦悩

東野圭吾著

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / H55

5位 貸出回数26回



パラドックス13 = Paradox 13

東野圭吾著

所蔵館：花川館
請求記号：913.6 / H55

番外編

～6位以下を
ちょっとだけ紹介～

6位 貸出回数25回 **重カピエロ** 伊坂幸太郎著 所蔵館：本館 請求記号：913.6 / I68

7位 貸出回数22回 **ノルウェイの森** 村上春樹著 所蔵館：本館・花川館 請求記号：913.6 / Mu43

8位 貸出回数21回 **モダンタイムス** 伊坂幸太郎著 所蔵館：本館 請求記号：913.6 / I68

● 話題の小説 ●

海辺のカフカから4年ぶりとなる村上春樹氏の長編小説で、出版不況とも言われる中、異例の売上げを記録した「1Q84」。2009年6月に図書館に入ってから、BOOK1・BOOK2ともに16回貸出※されており、現在も6人が予約しています。（※2月現在）さらに、「1Q84」についての研究書も早速図書館に入りました。あわせて読んでみてはいかがでしょう？



1Q84 村上春樹著 所蔵館：本館
請求記号：913.6 / Mu43 / 1-2
BOOK1:4-6月, BOOK2:7-9月



村上春樹・戦記: 『1Q84』のジェネシス

鈴村和成著

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / Mu43s



村上春樹の「1Q84」 を読み解く

村上春樹研究会編著

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / Mu43m

図書館委員会からのお知らせ

図書館委員会では、2007年度図書館の中期五ヵ年計画を策定しました。

これは、2008年度から2012年度までの五ヵ年間に達成すべき目標を定めたものです。(図書館だより77号掲載)

この計画の中にある「図書館サービスの改善に関する目標」の一項目である「利用者のニーズにあった開館時間の延長」を受けて、2008年度花川館で一部実施、2009年度図書館委員会の課題の一つとして、両館で時間外開館の延長試行を決め実施しました。

試験期、卒論期及び補講期に、現在の開館時間を更に平日は1時間、土曜日(本館のみ)は2時間の延長開館を試行しました。期間は両学部同一ではありませんが概ね、2009年12月1日から14日まで、及び2010年1月12日～2月5日までの間で実施しました。

その結果、2008年度同時期(1/13～2/4)に試行実施した花川館で比較すると

	2008年度	2009年度
入館者数(19:00以降)	60人(平均3.5人)	147人(平均8.6人)
在館者数(19:30現在)	133人(平均7.8人)	140人(平均8.2人)
貸出冊数(19:00以降)	142冊(平均8.4冊)	64冊(平均3.8冊)

2009年度新規に実施した本館の上記と同時期実績としては

入館者数(19:00以降)	141人(平均8.3人)
在館者数(19:30現在)	127人(平均7.5人)
貸出冊数(19:00以降)	262冊(平均15.4冊)

以上です。本館の特徴としては土曜日の利用が多い結果となっております。学生からも好評であり、更により効果的な時間外開館を目指したいと考えております。

～2009年度 図書館のあたらしい動き～

2009年4月・JapanKnowledge+ (ジャパナレッジプラス) というデータベースが利用できるようになりました。百科事典や語学辞典などの検索ができるほか、現代用語の基礎知識、会社四季報、週刊エコノミストなど、就職などに活用できる情報もあります。図書館ホームページのトップにリンクがありますので、そちらからご利用ください。

・「OPACからのキャンパス間取り寄せサービス」本格運用開始しました。他キャンパスの本の取り寄せがOPAC(オーパック:オンライン蔵書検索)からできます。詳しくはカウンターにお問い合わせください。

☆その他最新情報は図書館ホームページ(<http://library.fujijoshi.ac.jp/>)で随時発信中です。

～図書館の利用状況から～

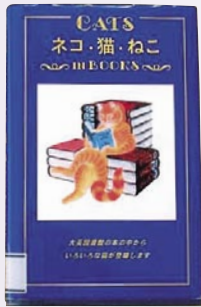
本学図書館が2009年4月1日から2010年1月末までに利用者に貸出した図書の冊数は58,621冊です。昨年度の同じ期間と比較すると、56冊減少しています。入館者は前年度と比較して3,520人減少しています。

	4月～6月	7月～9月	10月～1月	合計
入館者数 (人)	31,237 (31,863)	24,422 (24,124)	38,073 (41,265)	93,732 (97,252)
館外貸出冊数※ (冊)	15,694 (16,278)	16,279 (15,550)	26,648 (26,737)	58,621 (58,565)

※館外貸出冊数はデータ貸出のみ、本館・花川館合わせた数字です。()内の数字は前年度のものです。

図書館員の **オ ス ス メ 本** ～第8回～

外国には猫がいる図書館があるという。本にまでなった図書館猫もいましたが、本学では本の中だけです。そんな猫にまつわる本をご紹介します。猫ざらいの方は、同じ猫科の子ライオンの本はいかがでしょう。



『CATS ネコ・猫・ねこ
in Books
：大英図書館の本の中から
いろいろな猫が登場します』
ロドニー・デイル著、山内玲子訳
所蔵館：本館
請求記号：726 / D32

8世紀の『ケルズの書』から
ガーフィールドまで、大英
図書館の本棚から猫が大集合。

アリスのチェシャ猫など有名猫のほか、魔女裁判の記録に出てくる猫など、珍しいものも。皆さんの欲しい文献が国内にない場合、この図書館から取寄せています。



『ここは猫の国』
文・写真 片岡義男
所蔵館：花川館
請求記号：019 / Ka83

先に『絵本についての、僕の本』を出している著者が、本棚から猫の絵本だけ抜き出すと現れたのはまるで猫の国。全ページに著者撮影の美しい写真入り。すべて洋書ですが写真を見るだけで楽しい本です。邦訳されていない本も多数掲載。



『ページをめくる指』
金井美恵子著
所蔵館：花川館
請求記号：019 / Ka44

片山健の『タンゲくん』（隻眼の猫の名前）から始まる、絵本についてのエッセイ。絵

本が題材でもけって甘くない、著者らしい文章が痛快。『ピーターラビットの絵本』について書かれた章タイトルが「食べ物としてのうさぎ」！



『ねむいねむい ちいさなライオン』
マーガレット・ワイズ・ブラウン
文、イーラ写真、ふしみみさを訳
所蔵館：花川館
請求記号：376.19 / B77

『おやすみなさいおつきさま』など多くの名作絵本の作者ブラウンと、動物写真家の先駆けイーラの写真を組み合わせた写真絵本。原書は1947年出版ですが、今見ても動物たちの自然な表情にノックアウトされます。

／編／集／後／記／

79号の巻頭言に藤井副学長より「変化へのまなざし」、高橋セツ子先生から新入生に向けて「あふれる食情報との付き合い方」について、図書館実習を終えた図書館情報学課程の学生さんから「図書館体験記」をご寄稿いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。新入生歓迎号がようやくできました。新入生のみなさん入学おめでとうございます。在校生のみなさん進級おめでとうございます。初めて手に取った図書館だよりはいかがでしたでしょうか。広い図書館は“ほっと一息”静かに休憩できる場所ですよ。授業の合間、休み時間など気軽にお立ち寄りください。

2011年、図書館開館50周年を迎えます。そこで図書館イメージキャラクターを募集します。募集については図書館ホームページ、ポスターなどでお知らせします。学生、教職員のみなさんご応募お待ちしております。

藤女子大学 図書館だより 第79号 2010.3

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770

<http://library.fujijoshi.ac.jp/>

